

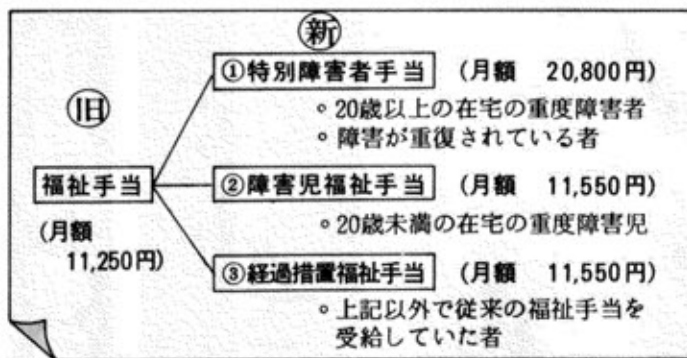
在宅

重度障害者に朗報

特別障害者手当制度

4月から発足します

昭和六十一年四月から、国民年金法の一部改正により、障害基礎年金制度が導入されます。これに伴い、従来の在宅の重度障害者に支給していた福祉手当が見直しされて、新たに特別障害者手当制度が左記のように発足します。



保育所入所受付

一、申請書提出期限

公営住宅(空室)情報

- ① 県営あけぼの団地 0戸(24)
② 町営よしとみ団地 7戸(16)
③ 町営大島団地 5戸(30)

( )内は全戸数

二月十日(月)

二、提出場所

福祉課及び保育所

三、入所施設等

① 東部保育所

② 西川口保育所

③ 田麦山保育所

④ 上川保育所

※入所申請書は、福祉課、田麦山支所及び各保育所に用意してあります。

児童、父子手当

受給者のみなさんへ

2月期支払日は

2月10日です

児童手当及び父子手当は毎年二月、六月、十月の三回に分けて、それぞれの月の前月までの四ヶ月分をまとめて支払います(年度途中の認定者は、それぞれの月数分)。二月期支払分をあなたの指定金融機関口座に振り込みます。なお、個々の支払通知書はこれをもってかえさせていただけます。

たばこは町内で買いましたら



かまくら〔鳥追い堂〕

(1月14日夜 西川口地区)

鳥追いは子供たちが主役。かまくら(鳥追い堂)の中で荒屋地区の子供たち12名が楽しい一時を過ごした。

囲碁 将棋大会結果

(1月19日 福祉センター)

▽ 囲碁の部

- 総合優勝 大橋快泉 準優勝 山吉康三
A組1位 大橋快泉 B組1位 山吉康三
2位 広井 孝 2位 大淵公男
3位 真島昭左久 3位 古田島淳治

▽ 将棋の部

- 総合優勝 高橋晃輔 竹組1位 高橋晃輔
"準" 篠田 努 2位 平沢耕一
3位 関 和雄
松組1位 篠田 努 梅組1位 関 武司
2位 堀沢 敏 2位 河上博司
3位 星野建一 3位 星野寅次

Table with population statistics for February 1, 1961: Total population 6,565, Male 3,234, Female 3,331, Households 1,519.

おまな内容: 仕事始めに町長が町職員を研修 2~3, 川口小学校新校舎紹介 4~5, 行 革 6, 61 豪雪 7, 税 8, スポーツコーナー 9, 健康シリーズ 10, お知らせコーナー 11~12

### 仕事始めに町長が町職員を研修

# 厳しい環境を チャンスに変える時が来た

- ▽町政のテーマ……………健康にしてうるおいのある 定住条件を満たすために
- ▽スポーツの町宣言……………健康と心のふれあう スポーツの町
- ▽郷土に愛情を……………レッツ・ラブ・カワグチ
- ▽コミュニティ標語……………この町は 君が住む町 創る町

- #### 研修項目
- ①時代の变化
  - ②政治に対する基本的な考え方
  - ③町政運営の特徴
  - ④定住構想の最終の目的
  - ⑤活性化対策

### 定住構想の最終目的は 工場誘致と農家経済対策

仕事始めの去る一月四日、青柳町長は町全職員を前に新しい年にかける抱負を語るとともに、資料をもとに今後の町政の方針を研修しました。研修内容は、①時代の変化②政治に対する基本的な考え方③町政運営の特徴④定住構想の最終の目的⑤活性化対策の五つ。

昭和六十年代はさらに厳し

い時代だ。この厳しい環境をチャンスに変える時が来たと言ひ、研修に入りました。

#### ①時代の変化

「感じて、演じて  
交わる」の時代

経済的变化では、国債が今年さらに増発され、累積国債は百四十三兆円にもなっている。利息だけでも一日四百億円が必要。ちなみに川口町における六十年総予算は三十五億円。国債の一日当りの利息だけでも町総予算の十一倍強になっている。

このため、しわ寄せが県や市町村にまわり、補助金一〇兆カットや高率補助の補助率減が即、地方財政を圧迫し、公債費比率が急上昇している。一方、民間でも身近な企業（建設・木工・木材）の倒産が相次ぎ、深刻化している。原因別で見ると、昭和五十八

#### 心あふれる コミュニティの形成

政治に対する基本的な考え方は、相互に心のふれあうコミュニティを形成しながら、理解と協力によって合意を得ることにある。住民が自分達の町を見つめ直し、町に愛情を持つこと、すなわちレッツ・ラブ・カワグチ運動を提唱。

◎町政のテーマ  
健康にしてうるおいのある 定住条件を満たすために  
◎スポーツの町宣言  
健康と心のふれあう  
スポーツの町

### 合理的町村経営 を堅持

◎郷土に愛情を  
レッツ・ラブ・カワグチ  
◎コミュニティ標語  
この町は君が住む町創る町  
を基本としている。

◎町政運営の特徴

町政運営の特徴は、昭和五十二年就任以来進めている企業感覚による合理的町村経営にある。

財政再建整備計画の三つの基本、

- ①既定経費並びに制度の総見直しを行い、経費支出を厳しく抑制する。
- ②起債（借金）による事業は厳しくこれを抑え、公債費は交付税に見かえりのあるものを選択する。
- ③国庫補助事業は、積極的に導入する。

シビルミニマムを策定する。町村経営を占う三項目、①經常収支比率（県下二十位）②公債費比率（同三十位）③人

### 先取り行政の展開

件費比率は正常値を示し、「財政再建整備計画」は着実に進行している。

今後、さらに合理的町村経営を堅持していく。

一般経費を厳しく抑え、余力となった財政で全国規模の事業を多く実施している。

今年の新規事業は①研修福祉センターの完成（労働省）②家族旅行村を着手（運輸省）③農用地開発モデル事業推進（農林水産省）などが予定されている。

継続事業も①川口小学校体育館改築事業（文部省）②農村基盤総合整備事業（農林水産省）③凍雪害防止事業（建設省）など各地区均等に事業が計画されている。

### 工場誘致の 広域化

定住構想の最終目的は安定した収入があること。それは

#### ④定住構想の最終目的

### プロ農家の育成

工場誘致と町の基幹産業である農家経済対策だ。

工場誘致は広域化を進める。近隣市に進出した大型企業を若者の就労の場とし、中高年齢者は、町内に進出した中小企業への就労を基本にしたい。現在町内で活躍している会社は四十七社、従業員は一千二百六十五名。私が就任して以来、十四社、従業員三百五十名増加している。今年も積極的に工場誘致を行っていく。

農家経済対策は、①プロ農家の育成②地域農政の確立③生産組合法人の促進を基本として進める。

昭和五十五年に策定した、「地域農政移行基本構想」を軸に大幅な国庫補助事業を導入し、複合営農への道を着実に歩んでいる。

きのこの生産県下第二位をはじめ、スイカ、甘藷、肥育牛PTA、アスパラ、あさずきなど町の特産物として県内に知れわたっている。

農業推進におけるモデル三事業①都市と農村の交流②農

#### ⑤活性化対策

### 川口ICを 最大限に利用

業農村整備③農用地開発促進も地域農政の確立には大きな起爆剤になる。

基幹作物「米」は、良質米の生産拡大はもちろんのこと。生産コストを下げる必要がある。このためには、農機具の共同利用、労働力の省力化などを進めるよう促進する。生産コストの軽減はすべての生産物に通ずる課題であることはもちろんのことだ。生産組合法人を積極的に進めて行く。

当町には日本一のインটারチェンジ、サービスエリアという大きな財産がある。インターチェンジを持つ町は必ず発展する。まず町民が喜んで住んでいる町づくりをする。そうすれば自然に良い企業が集まる。あわせて企業誘致をする必要がない。町の方から企業を選べるほど立地条件は良い。

行政改革、すなわちスクラ

- #### 全国規模の事業
- ◎新潟建設労働者研修福祉センター新築事業
  - ◎新潟県川口観光レクリエーション地区（家族旅行村）施設整備事業

アップ・アンド・ビルド方式を強力に推進し、余力で施設の拡大や姉妹都市づくりなど町の活性化に努める。

全国規模の①新潟建設労働者研修福祉センター②観光レクリエーション地区施設整備事業（家族旅行村）と既設の運動公園を合せ、東京都狛江市や練馬区などの友好都市づくりを進めて行く。

農業農村は大きな変革のうねりの中にある。補助事業の導入はもちろんの事、これからは民間活力の導入も大きく推進したい。

極めて厳しい社会経済環境の中であるが、発想の転換をはかり、町民の理解と協力によって合意を形成しながら、独特の個性を持った町、「調和のとれた活力のある温かい町づくり」をめざそう。

# 川口小学校新校舎紹介

## 広く明るくなった新校舎

「明るいクリーム色を基調にした新校舎から楽しそうに弾んだ声が聞こえる」川口ありお太鼓や鼓笛隊で知られる川口小学校（児童数三百四十七名）改築工事が昨年暮れに完成し、三学期から新しい校舎で授業を始めます。

訪れた日は、真新しい特別教室で五年二組が家庭科の勉強中。子供達の目は輝き、弾んだ声が教室内いっぱい広がります。



家庭教室 5年2組

「同じく、真新しい特別教室で五年二組が家庭科の勉強中。子供達の目は輝き、弾んだ声が教室内いっぱい広がります。」

同校は「進んで考え、力を合わせて、やりぬく子ども」を教育目標に、きめ細かい教育が行われています。通学区は、川口町の中心地川口地区、西川口地区、和南津地区の三地区。

同校の歴史は古く、明治六年十月に中山校として開校以来、八十八年目の昭和三十六年四月に西川口小学校と統合し、現在地に建設されています。



普通教室 6年1組

教育に対する関心が年々高まる中、町はこれをいち早く察知し、昭和五十六年から学校教育施設整備を進め、今年度で町内全校が新しい校舎に生まれかわりました。

残る、川口小学校の体育館と食堂は六十一年度改築予定となっています。

また、「ニューメディア時代」に対応できうる教育をめざし、教科内容の充実を核とした「教育新五カ年計画」の策定作業に入っています。

関越自動車道や国鉄飯山線から見た新校舎はすばらしく、次の時代の指導者にならなければならぬ。

### 新しい校舎しゃでがんばるぞ



4年2組 山吉和浩くん

二期の終業式の日の十二月二十四日、初めて新しい校舎に入った。まっ白いかべが一階、二階、三階とつづいていてとてもきれいだった。山の方から太陽の光が白い川

口小学校にあたると、赤と青と白のおしろいのように見えた。二期は工事のため、雨がふっても雪がふっても、体育館に行くときは、グラウンドから行くのでつらかったが、新しい校舎ができてからすぐに行けるからうれしかった。

音楽室は広くて音がびびく。用具室もあった。理科室も広くて黒板がもしろかった。

今のガス・ヒーターは部屋全体があたたまります。教室には二つついていて寒い寒いなんていう人はほとんどいません。

理科室、視聴覚室、家庭科室、図書室なども大変広くなりました。玄関も広くなりました。児童の入口は三つあります。一年と六年、二年と五年、三年と四年というようにげた箱がおいであるのです。ですから、みんなだいたいげた箱のある所から入って行くので、余り混むことがなくなりました。それから、管理棟の方の階段からも上がれるので、朝会の帰りなども混雑することがなくなりました。

設計する人が私たちのために考えて設計してくれたので、学校生活が便利になって来たんだと思います。

この広々とした明るい学校で残り少ない小学校生活をいっしょうけんめい勉強したいと思えます。

(総敷地面積 17,200㎡)	
1. 普通教室棟	1,751㎡ (改築済)
2. 管理・特別教室棟	1,794㎡ (改築済)
3. 体育館	869㎡ (改築予定)
計	4,414㎡

気がよくていい子だからこんなにいい学校を作ってくれたのです。だいにしにしよう」と三学期の始業式の日に校長

### 広々と明るい学校



6年2組 上村昭子さん

新しい校舎が出来て、三学期がはじまりました。新しい特別教室での勉強の最初は音楽でした。戸が二つかさなっ

ていました。二つの戸を開けて入ると、広い音楽室でした。いままでの音楽室はオルガンが教室の中いっばいにあっただけで、通路がらくらくで、後方の方もじゅうぶんにあいてい

先生が話をしました。ぼくたちは新しい校舎で力いっぱいがんばりたいと思う。

いままでは、音楽室に行く時は、一度一階まで降りてそれから、わたりろをか歩いて管理棟の二階まで上がりました。いままでは、管理棟と教室棟はつながったので、特別教室へ行くのにも、わざわざ一階まで降りることもありません。だから教室移動が楽になりました。

あと、すごくかわったことという、だんぼう器です。昨年までは、石油ストーブだったのでそのまわりの人はあたたかいけれど、はなれている人はさむくて大変でした。

もうたくさん勉強した。図工室は使っていないが、「こんど版画のときに使う」と先生がおっしゃった。ぼくたちの教室もきれいなになった。先生は、「白いかべにきたない手でさわったりよごしたりしないようにね。」と注意したが、ぼくたちはついさわってしまった。でもだいにしにしよう。放送室はジュータンの部屋だ。まだつかっていないが、教室にテレビがないので三学期は放送室でみるそうだ。

トイレが一階から三階まであってべんりだが、男の便所その話を先生にしたら「人数を計算して作ってあるから心配しないでいいよ。こむことはあまりなかったでしょう。」とおっしゃった。だから作るときはちゃんと計算して作ってあるのだということがわかった。

ぼくたちは二学期、社会科の勉強でどれくらいのお金でできたのか調べてみた。そして三億五千万円もかかったときいてびっくりしてしまっ

「川口小学校の子供は、元

### 川口小学校改築までの経緯

- 昭和56年3月 川口町学校教育施設整備5カ年計画策定
- 昭和60年4月 設計監理委託契約 国庫負担事業認定資格審査
- 昭和60年6月 建築工事現場説明
- 普通教室棟大規模改修工事、特別教室棟建築工事入札及び契約、着工
- 普通教室棟
  - 本体工事…川口建設共同企業体
  - 電気設備工事…有限会社内藤電気工務所
- 特別教室棟
  - 本体工事…植木・東北工業建設共同企業体
  - 電気設備工事…有限会社上村電機
  - 浄化槽・暖房設備工事…川口管工事共同企業体
- 特別教室・管理棟取りこわし完了
- 国庫負担事業認定
- 普通教室棟大規模改修工事竣工
- 昭和60年8月 福祉センター・文化会館から普通教室棟校舎へ引越し作業
- 昭和60年9月 特別教室棟建築工事竣工及び引越し作業
- 昭和60年12月 特別教室棟校舎開設

総事業費	351,986,000円
設計監理費	8,000,000円
工事費	337,114,000円
備品費	6,872,000円

内訳

### 町の行政改革大綱 を公表します

# 行革

## スクラップ・アンド・ビルド方式

敬老会対象年齢の引き上げやへき地保育所の廃止などの検討を盛りこんだ「町行政改革大綱」が、昨年十二月二十七日策定され、このほど公表されました。

地方行政改革は、昭和五十八年三月、国の臨時行政調査会の最終答申以来進められてきたもの。昭和六十年一月、自治省は、各地方公共団体に對して行革推進の方針策定を指示。これに伴い町が、昭和六十年三月、民間主導とした「町行政改革推進委員会」を設置（委員十名）。町幹部を中心とした行政改革推進本部が作成した諮問案に対して同委員会が検討をかさね、この

ほど公表されたものです。行政改革は、縮減のみを目的としていません。時代の變化的確な対応をすること、町の発展のために真に必要なことは積極的に充実強化することにあります。

いわゆるスクラップ・アンド・ビルド方式により進めるものです。

行政改革を実施するにあたり、町民のサービスを十分配慮し、町民の理解と協力を得ながら進めます。

当町は、青柳町長就任以来他町村に先きがけて合理的な町村経営を行って来ています。さらに検討を加えたものです。

昭和六十二年度までに検討 する内容を紹介します

## 当面検討する事項

### ① 事務事業の見直し

- ① 行政の責任領域② 整理合理化③ 受益と負担の公平という視点から、スクラップ・アンド・ビルド方式で行います
- 事務事業の廃止・縮小・終期の設定、統合、使用料・手数料の見直しを進めます。
- ① 税、料金等徴収金の口座振替
- ② 牛ヶ島渡船運行業務
- ③ 消防ポンプの適正配置
- ④ ごみ収集業務のあり方
- ⑤ 敬老会対象年齢の引き上げ
- ⑥ 各種事業の補助金
- ⑦ 各種団体の活動費、運営費補助金
- ⑧ 各種手数料
- ⑨ 公共施設の使用料

### ② 組織、機構の簡素合理化

社会経済情勢の變化に対応するため、統合、再編、廃止移管、委員数の削減等を進めます。

- ① 役場内部組織
- ② 支所
- ③ 保育所、へき地保育所、児童館
- ④ 公共施設と集会所
- ⑤ 各種委員会、協議会の数、類似性
- ⑥ 非常勤特別職員の定数

### ③ 定員管理の適正化

- ① 町職員の数
- ② 職員研修のあり方
- ③ パート制度

### ④ 民間委託、事務改革の推進

- ① 学校給食業務
- ② 消防団事務
- ③ 公共施設の管理
- ④ 事務のコンピュータ化

### 町議会議員定数問題で 調査特別委員会を設置

町議会は、行政改革に伴い議員定数について検討するため、去る1月8日臨時議会を開き、「議員定数に関する調査特別委員会」を設置しました。

同委員は議長を除く17議員で構成され、委員長は小宮山副議長。

当町の議員の法定数は22名。昭和44年他町村に先きがけて定数を4名削減し現在は18名です。しかし、住民の中にはさらに定数の削減を求める声があるため、同議会は同特別委員会を設置して定数問題を調査、研究することになっています。

同委員会ではできれば、3月定例会に、遅くとも6月定例会には調査結果を報告することになっています。

ちなみに県内の市町村のうち人口5千人から1万人の町村は41。このうち議員定数を削減し16名にした町村は、新穂村と中之口村があります。

## 56豪雪にせまる積雪

積雪 360 cm (1/27)

# 雪害はこれからが本番 みんなの力で安全を守る

## 猛威をふるう白魔

### 一月二十五日 町豪雪対策本部を設置

皆さん毎日の除雪作業、ほんとうにご苦労様です。

激しい雪が降り続き、五六豪雪にせまった去る一月二十五日、当町は「川口町豪雪対策本部」を設置し、雪害の防止対策に万全な体制を整えました。（一月二十七日現在積雪三六〇センチ）

その後六日間は小康状態がありました。一月二十二日から再び激しく降り続き、六日目の一月二十七日には積雪が三六〇センチを記録しました。

今冬降雪の最高は一月十日に一一六センチを記録。（一月二十七日現在）この記録は過去最高の昭和十年十二月十三日の一二四センチ、大正十二年十二月三十一日の一二二センチに次ぐ三番目の記録です。（資料・県蚕業試験場）

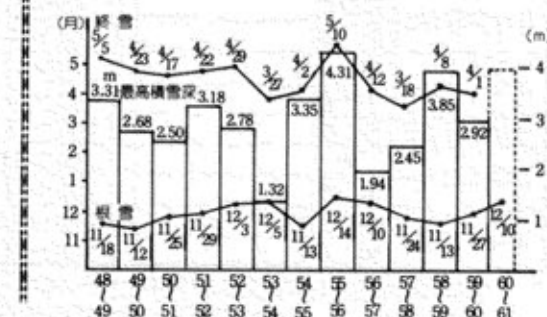
雪は、白魔と化し、表層雪崩や屋根雪おろしの転落事故、雪が原因の火災等を引き起します。

町では、一月二十五日から雪崩等危険箇所パトロール隊を編成し、毎日パトロールを実施しています。

異常豪雪から災害を未然防止するためには町民の協力が必要です。雪崩等危険箇所を発見しましたら、直ちに町豪



### 根雪、終雪日の推移、最高積雪



▲ 県議を中心とした61豪雪視察団が木沢地区を訪れ 同地区民から豪雪に関する陳情を受けていました。1/29木沢

雪崩等危険箇所パトロール隊を編成し、毎日パトロールを実施しています。

異常豪雪から災害を未然防止するためには町民の協力が必要です。雪崩等危険箇所を発見しましたら、直ちに町豪

雪対策本部へ通報してください。

特に今冬のような集中豪雪には、過去に例のない場所に「表層雪崩」が発生しやすくなります。ガケ下、山の麓（ふもと）などに家がある人は注意してください。

ちなみに、当町における「雪崩危険箇所」は、二十三所（戸数二十九戸、百八十七名）です。

町の除雪隊は、二十六名で構成され、除雪機械九台がフル回転しています。しかし、道路への無断駐車や雪の無断投雪があとを断たないため、除雪がスムーズにいかない場合があります。

ゴミ収集作業は、東部地区で行いました。東部地区は夏場三十九箇所のゴミ置場を設置してありますが、今冬の豪雪期間は十八箇所に減少させ、当分の間対応します。ご協力をお願いします。

毎年雪によるガスメーター破損や水道の漏水の事故、風呂場の排気設置破損やストーブの不始末による火災も発生しています。

スッポリと雪に埋まった住居、いざという時の避難口の確保を忘れずに。

雪害は、これからが本番です。みんなの力で安全を守りましょう。

# スポーツの町宣言

## がんばれ川口勢

- ▽冬季国体  
2月20日～北海道倶知安ニセコス  
キー場  
(関浩和君、星野裕一君出場)
- ▽全国高校スキー大会  
2月3日～長野県白馬村岩岳スキ  
ー場  
(関浩和君、星野裕一君出場)
- ▽全国中学スキー大会  
2月5日～新潟県妙高高原町  
(川口中・星野英樹君出場)
- ▽郡中学校新人スキー大会  
2月21日～湯之谷村  
(川口中スキー部出場)
- ▽郡小学校親善スキー大会  
2月13日～小出町  
(町内小学校4校出場)
- ▽全日本ノルテック選手権大会  
2月8日～北海道旭川市  
(星野裕一君出場)
- ▽高松宮杯スキー大会  
2月13日～北海道札幌市  
(星野裕一君出場)

関浩和君、県スキー選手権純飛躍の部で三位に!!  
第41回国体冬季大会スキー競技会県予選会、第64回全日本スキー選手権県予選会を兼ねた県スキー選手権大会は、去る一月二十一日、上越市金谷山オールシーズンジャンプで行われました。



西川口 関 浩和君

### 県スキー選手権

## 関純飛躍で三位

純飛躍少年の部で、関浩和君(塩沢商工三年、中新田、敏夫さん三男)が三位と健闘しました。  
同大会の複合の部でも前半の部飛躍で二位、総合で八位となっています。  
関君は、昭和五十八年県中学校スキー大会複合の部で初優勝してから頭角をあらわし、昨年の県スキー選手権大会で入賞するなど抜群の好成績をおさめています。  
また、星野裕一君(六日町

高一年、野田、紀博さん長男)も複合の部に六位入賞しています。

### ヤング紹介④

## 趣味は バレーボールとドライブ



西川口 渡辺隆夫さん

渡辺隆夫さんは、西川口から新潟理研測範へ勤務しているやさしそうな好青年。

- Q 趣味は。  
A バレーボールとドライブです。
- Q 理想の異性像は(具体的に)  
A 心の美しい人。
- Q 若さの証明とは何んですか。  
A 何にでもチャレンジできることです。
- Q 町への要望は。  
A 町が発展することはすばらしいことですが、自然も多く残してほしい。
- Q 好きなことばは。  
A 努力
- Q 将来の夢は。  
A 子供の気持ちを理解できるおやじになることです。
- Q 今、やりたいと思っていることは。  
A のんびりと温泉につかりたいですね。
- Q 最後に自己ピーアールを!  
A やる気まんまんの21歳です!

## 第8回 雪まつり

健康と心のふれあい



- 内容
- コミュニティ広場
  - ふるさと広場
  - スキー競技(距離)

- ◆とき 61年3月2日(日) AM9:30～
- ◆ところ 川口町運動公園(多目的広場他)



贈与税 2月1日～3月15日  
所得税 2月16日～3月15日  
町・県民税 2月15日～3月15日

ほらそこに 税は 幸せ生んでいる

## 2月は申告時期です

所得税や町・県民税の申告時期になりました。昨年一年間の収入と支出の資料に基づいて二月中旬から三月十五日までに、所得税、贈与税は小千谷税務署へ。町・県民税は町役場税務課に申告してください。

なお、所得税の確定申告書を提出すれば、改めて事業税や町・県民税の申告をする必要はありません。

### 地区巡回相談 2月15日から

町・県民税の申告巡回相談は、二月十五日から行います。所得税がかからないために確定申告の必要のない方や、給与所得者で給与以外に所得のある方などは町・県民税の申告が必要です。

◎申告に必要なもの

- ①収入と支出の資料
- ②給与支払等の源泉徴収票

### 昭和61年度住民税申告相談日程

期 日	部 落 名	時 間	会 場
2月15日(土)	八郎場	9:00～11:30	八郎場会館
	上河原	1:00～4:00	和南津集落開発センター
2月16日(日)	長坂	9:00～11:30	和南津集落開発センター
	下村	1:00～4:00	
2月17日(月)	野田	9:00～11:30	野田公民館
	中山	1:00～4:00	中山公民館
2月18日(火)	牛ヶ首	9:00～11:30	牛ヶ首会館
	岩出原・山ノ相川団地	1:00～4:00	岩出原集会所
2月19日(水)	小和北・相川口	9:00～11:30	相川口会館
	荒屋	1:00～4:00	西川口集落開発センター
2月20日(木)	新敷	9:00～11:30	新敷集会所
	原新田	1:00～4:00	原新田集会所
2月21日(金)	西倉	9:00～11:30	西倉地藏堂
	中新田	1:00～4:00	中新田集会所
2月22日(土)	川岸	9:00～11:30	川岸集会所
	川口5,6,7	1:00～4:00	川口町総合福祉センター
2月23日(日)	川口1,2	9:00～11:30	川口町総合福祉センター
	川口3,4	1:00～4:00	
2月24日(月)	荒谷	9:00～11:30	荒谷会館
	武道窪	1:00～4:00	武道窪公民館
2月25日(火)	竹田	9:00～11:30	竹田集落センター
	大形	1:00～4:00	田麦山集落開発センター
2月26日(水)	田中・大谷内	9:00～11:30	田麦山集落開発センター
	前原	1:00～4:00	
2月27日(木)	貝の沢	9:00～11:30	貝の沢公民館
	小高	1:00～4:00	小高集落開発センター
3月1日(土)	相川3	9:00～11:30	天納会館
	牛ヶ島	1:00～4:00	牛ヶ島公会堂
3月2日(日)	全町	9:00～3:00	川口町総合福祉センター
	峠	9:00～11:30	峠会館
3月3日(月)	木沢	9:00～4:00	木沢集落開発センター
	相川2	9:00～11:30	相川集落開発センター
3月4日(火)	相川1	1:00～4:00	

○当日会場に来られない方は3月2日(日)川口町総合福祉センターで申告相談をして下さい。 ※やむを得ず一部日程の変更をすることがあります。

- ③ 雑損・医療費・社会保険料、生命保険料などの証明できる資料
- ④ 被保険者証
- ⑤ 印かん

日時 二月二十八日(金) 午前九時～午後三時  
場所 町商工会館  
その他 確定申告の受付も行っていきます。

### 納税相談 小千谷税務署

納税相談期間中(二月十五日～三月四日)は税務課の職員が各地区に出かけます。計画された日時に都合できない方は、三月五日と三月十日までに役場税務課へお問い合わせください。

### お願い

等持参の上、該当する会場へお出かけください。

小正月の十五日牛ヶ首地区で一風変わったさいの神が行われました。(写真)

さいの神の祭りは年中行事として長く習俗が伝えられてきました。雪原をふみかため中央に円形の雪だんをつくり、わらを組み、正月の門松やしめ、お札などを燃やし、無病息災を祈ります。牛ヶ首地区の「さいの神」は、わらで組んだ先



▲ 牛の角を型どった「さいの神」  
明治時代から伝承されている  
(1月15日 牛ヶ首地区)

## 正月行事2題

### ちよつと変わった「さいの神」

端に「牛の角」を形どったものをわらで作成し取り付けた、町内ではチョット変わった「さいの神」です。牛の角の形は60ばかりのわらを使って地区のベテランが作成にあたります。その下には鎮守様のしめ飾りをつけます。明治時代から「さいの神」になると牛の角を形どったものをつける風習が、伝承されています。

なぜ、「牛の角」を形どったものを作成するようになったのか。地区の人は「牛ヶ首」という地名に由来しているのではないかと考えています。確かに餅を竹竿の先につけて焼き、これを食べると風邪をひかないといわれます。子供たちは、書初めを燃やしながらが字が上手になるように、いろいろな願いをしました。

地域のコミュニケーションの場として最高。

「川口町史」の中では小正月について、もぐらもち追いや成木責め、小正月の年取り、賽の神などの項目で取り上げています。魚沼ではほとんど小正月の賽の神が行われていますが、全国的に見ると、ドンド焼き、左義長(さぎちよう)さいの焼きとして火祭りをやっているところがあります。

賽の神祭りは豊作を祈り、年神様を送る意味で行われ、火祭りや食べ物を調理して神に供え、参加した人も食べるという行事であったようです。

## 鳥追い

小正月行事の鳥追いは子どもたちによって伝承されて、1月14日の夜、毎年行われています。江戸時代もこの鳥追い行事は高い堂をつくってしめ飾りなどをして、その上で子どもたちが「鳥追いだ、鳥追いだ」と鳴りながら鳥追いをしたと伝えられています。



▲ 1月14日 東部

今は鳥の害は少ないが、昔は鳥の害がどこの田舎にもあった。「川口町史」でも鳥追い唄や鳥追いの項目で紹介しているが、この鳥追いは場所によってやり方が変わっている。

川口では堂の中をそっくりくり抜き、天井にはしごやすだれをかけ、あるいはシートをかけてその中で食事をし、遊ぶ。これは場所によっては堂をくり抜いて「ホンヤラ堂」と言ったり、単に雪穴の中で神棚を中心にしてそこで食事をすると

うことも。大切なことは子どもたちがそこで小屋生活をしたり、解放的な遊びをする場にしたもので昔からそこに意味があったのであった。

鳥追い行事は、鳥を追うこと、子どもが戸外で小屋生活を体験する二つの意味があります。

堂の形式は多様で定型はないが、こどもの遊びとして伝承して行きたい行事です。

## 健康シリーズ②

# 40歳以上

# みんなで受けよう 一般健診

成人病予防週間 2月1日～7日



## 増え続ける心臓病

快食・快眠・快便が健康のパロメーターのひとつといわれています。日本も今や世界一の長寿国。しかしその一方で、自分の本当の健康状態さえも、よく知らないといっ

### 40歳すぎたら

#### まず健診

三大成人病といわれる三悪トリオ①がん②脳卒中③心臓病の死亡率は、昭和六十年に心臓病が増え、①がん②心臓病③脳卒中の順位となり、心臓病が急激に増加しています。いつもと同じように仕事をし、家へ帰って好きな酒を一

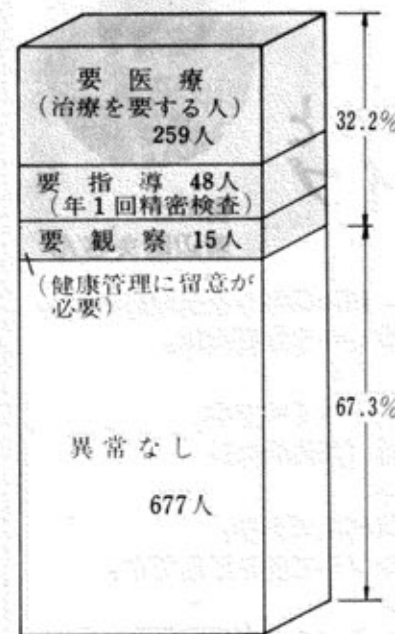
ら突然心臓発作に見舞われて急死……心臓病によく見られるケースです。

一般健診は、主にがん、脳卒中、心臓病などの成人病の予防に効果を上げています。このため健康診査で自分の体を正しく知ることが大切です。この一般健康診査では、尿検査、身長、体重、血圧測定、さらに医師による診療が、各地区で行われています。

### 早期発見、早期治療 年間異常者322人

町内における昭和六十年の一般健康診査は、九百九十九人が受診。その結果異常が

【第1表】 60年度一般健康診査受診者 判定区別状況



【第2表】 各種健診受診者数の推移

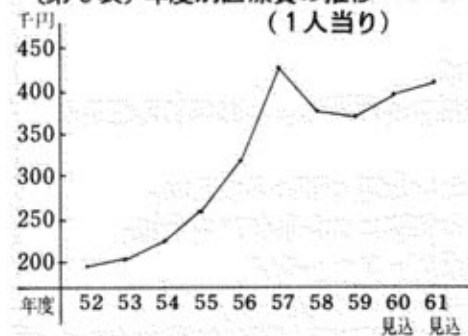
年度	一般健診	胃検診	子宮がん検診
58	940人 (535)	341人 (11)	173人 (6)
59	1,000 (479)	450 (13)	200 (3)
60	999 (322)	603 (26)	243 (9)

※ ( )内は異常が認められた者

認められる人が三百三十二人。全体の三割を占めています。この内訳をみますと(第一表)のようになります。病気が、かかってないと思っても自覚症状がないままに放っておくと、どんどん進んでゆくものです。

町での脳卒中での死亡者は七名と依然として多く、安心は禁物です。

【第3表】 年度別医療費の推移 (1人当り)



### 年間検診計画

- ① 一般健診 4～6月までの20日間
  - ② 胃検診 7～8月までの11日間
  - ③ 子宮がん検診 6月中旬 2日間
- ※日程が決定次第お知らせします。

胃検診六百三人、子宮がん検診二百四十三人が受診し、四人の「がん」が発見されています。「がん」は早期発見がキメ手、このことが、伸びつづける医療費の歯止めになります。

町では六十三年度までに受診率を二倍にふやしたいと考えています。